

寄付の方法

■ オンライン決済によるご寄付 ■

岡山大学学都基金のホームページから、以下の方法でオンライン決済によるご寄付を受け付けております。

クレジットカード決済

コンビニ決済

ペイジー決済[インターネットバンキング]

岡山大学学都基金

検索



■ 振込用紙によるご寄付 ■

岡山大学学都基金事務局まで
ご連絡いただければ、
振込用紙をお送りいたします。

寄付の特典[ご希望者のみ]

一定額以上ご寄付いただいた方のお名前を銘板に刻み、
末永く顕彰させていただきます。

個人 1万円以上

法人 10万円以上

税制上の優遇措置

本学へのご寄付は、寄付者が個人の場合、
寄付金控除の対象となり、確定申告を行うことにより、
税制上の優遇措置を受けることができます。

また、寄付者が法人の場合は、
全額損金算入が認められています。

詳しくは、「岡山大学学都基金」ホームページをご覧ください。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

岡山大学学都基金事務局(総務・企画部総務課)

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL 086-251-7009

電話受付 9:00-17:00(土・日・祝日除く)

E-mail kikin@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学は「共育共創コモンズ」を建設します。



岡山
の
新
た
な
シ
ン
ボ
ル

ともに創る未来

—— ご寄付のお願い ——

*本事業への寄付は寄付金控除の対象となります。

募集期間 令和3年6月11日～令和4年8月31日

募金目標額 1億円

岡山大学キャンパスに、地域や企業の皆さまとともに 学びあい交流できる空間が誕生します。

共育共創コモンズはみんなのイノベーション空間

最新のデジタル技術に関する講座やワークショップ、社会人と学生がともにアイデアを競いあうハッカソンなどを開催します。共同プロジェクトから機密性の高い共同研究まで柔軟に対応できる「共創ラボ」も整備します。

ポストコロナ時代に皆さまとの活動拠点となる建物です。
建設にあたり、ご寄付をよろしくお願い申し上げます。



学長メッセージ

これまで岡山大学は、SDGs推進研究大学として、地域や企業の皆さま方とのパートナーシップをもとに様々な協働活動に取り組んでまいりました。このたび、岡山大学キャンパス内に、令和3年4月の新工学部のスタートにあたって、皆さまとの協働を一層充実させる「共育共創コモンズ」を建設いたします。

世界的な建築家であり、新工学部の特別招聘教授としてご指導ご支援をお願いしている隈研吾(くま けんご)先生が監修してくださいます。本学だけではなく、岡山の新たなシンボルとなる木造建築です。この建物のコンセプトは、地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場です。300名収容の大規模講義室と共同研究拠点としての「共創ラボ」機能が重点的に設計されています。「共育共創コモンズ」の建設を契機に、アフターコロナ時代に向けて、「ありたい未来を共に育み共に創る共育共創の研究大学」を目指して参ります。皆さまには、ぜひお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

岡山大学長 榎野博史

事業概要

募金活動の名称

岡山大学共育共創コモンズ建設支援基金

監修

隈研吾氏(岡山大学特別招聘教授)

総事業費

約5億円(物品整備等経費含む)

建設場所

岡山大学津島キャンパス 東門正面より北に約150m

建物概要

- 木造2階建て 延べ床面積約810m²
- 講義室、企業との共同研究室、レンタルラボ等
- 令和4年11月完成予定



Photo © J.C. Carbonne

「広く興味を持って、広く学んで」

岡山大学特別招聘教授 隈研吾氏

岡山大学共育共創コモンズは、CLTを活用した木造建築物の可能性を追究しました。岡山大学の学生が、いろいろな人のいろいろな意見や価値観を受け止めることのできる、大きくてやさしい人になってほしい願いを込めて設計しています。建築物は大きいけれど、その仕事はたくさんの人が協力して、小さなことの積み重ねでできていることを、この原寸大の教材から学んでください。

20世紀は、「密なハコ」にたくさんの人間を詰め込むことで効率を追求してきました。コロナの疫病は、それが人の幸せにつながらないことに気づかせてくれました。コロナの後を生きるみなさんは、この「木のハコ」で、人が本当に幸せになれる新しい生き方を考えてください。

CLT(Cross Laminated Timber)の可能性を追究

「共育共創コモンズ」は、カーボンニュートラル・脱炭素社会に貢献する環境に優しい、CLTを活用した木造建築



CLTはひき板を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。これまでの木造建築は戸建住宅等の小規模建築が主でしたが、CLTは大規模建築を可能とします。CLTは、都会を森のような温かみと清々しさを感じる空間にします。

新工学部の新たな学び舎

岡山大学工学部は、1960年地元の熱い期待のもと、地域における工学系技術者の養成と、我が国のテクノロジー&イノベーションを担ってきました。1994年には、国立大学で初めて「環境」を教育研究の柱とする環境理工学部を設置し、環境学の拠点として成果を上げてきました。この2つの学部を再編統合し、令和3年4月中四国地区最大規模の新工学部が誕生しました。Society 5.0の実現を通してSDGsに貢献する実践的工学系教育を特色としています。この建物は新工学部の新たな学び舎としても利用します。

